

# グラフでみる加工食品の 生産・販売・外食等の指標



## 目次

### < グラフでみる "コロナショック"からの再生 >

1. 加工食品の生産動向
2. 食品卸売業・食品小売業
3. 外食産業
4. 食料品の物価

### < 今月のトピック >

- ・令和3年の食品産業をめぐる経済動向について

<https://fmr.or.jp/stat/nenpou/3doutaihonpenbunseki.1syoyou.pdf>



# 1. 加工食品の生産動向 <グラフでみる"コロナショック"からの再生>

食品需給研究センターでは、食品製造業の月次生産動向について、調査・分析業務（農林水産省「食品産業動態調査」）として実施しています。  
 ここでは、加工食品の調査対象のうち、特に今般の新型コロナウイルス感染症の影響が大きい品目の生産動向（増減率、速報値）についてとりあげます。

なお、詳細は、<https://www.fmric.or.jp/stat/index.html>

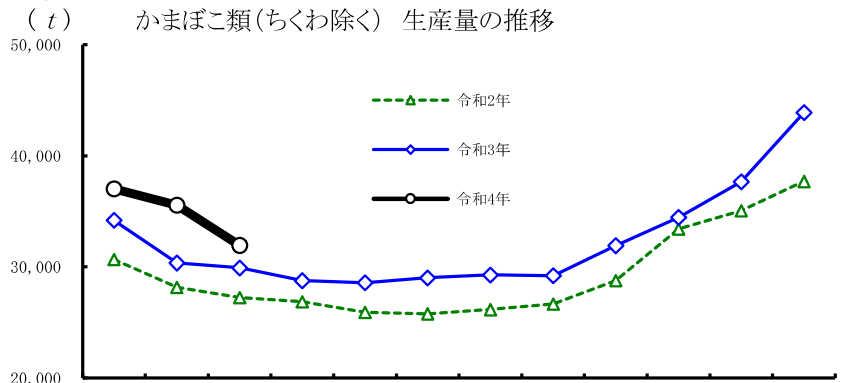
「食品製造業の生産動向」をご覧ください。

## ○ かまぼこ類

生産量 対前年同月比

**3月 6.7% 増加**

平成31年同月比 11.8% 増加

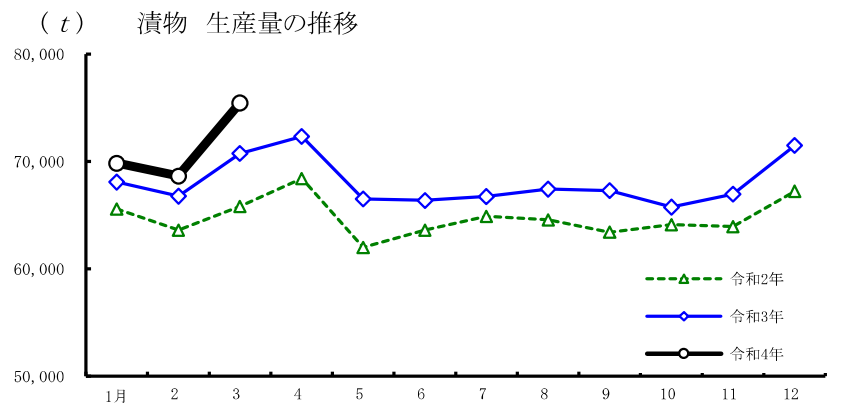


## ○ 漬物

生産量 対前年同月比

**3月 6.6% 増加**

平成31年同月比 23.2% 増加

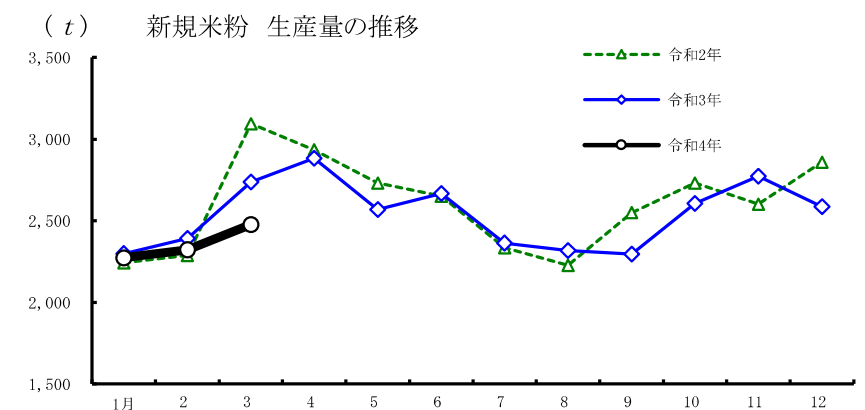


## ○ 新規米粉

生産量 対前年同月比

**3月 9.5% 減少**

平成31年同月比 1.5% 増加

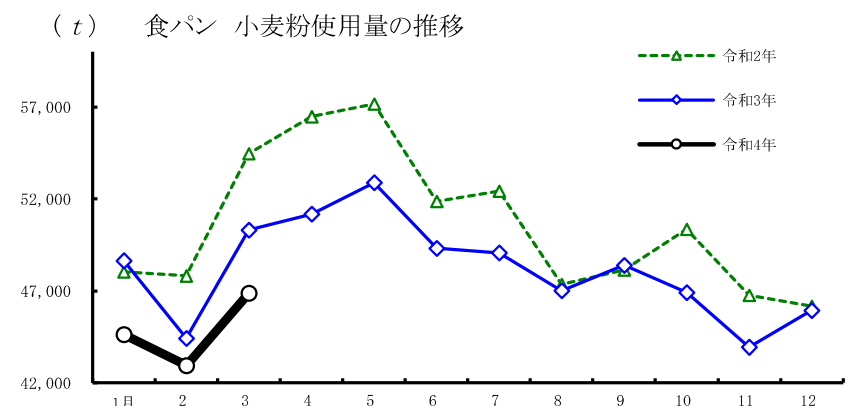


## ○ 食パン

小麦粉使用量 対前年同月比

**3月 6.8% 減少**

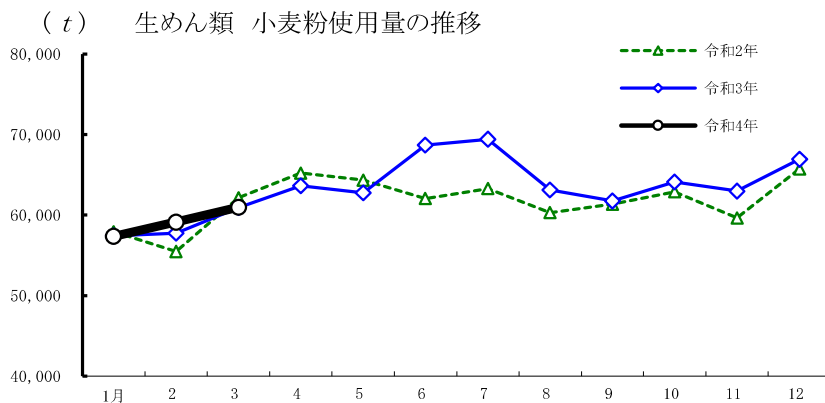
平成31年同月比 10.2% 減少



# 1. 加工食品の生産動向 <グラフでみる"コロナショック"からの再生>

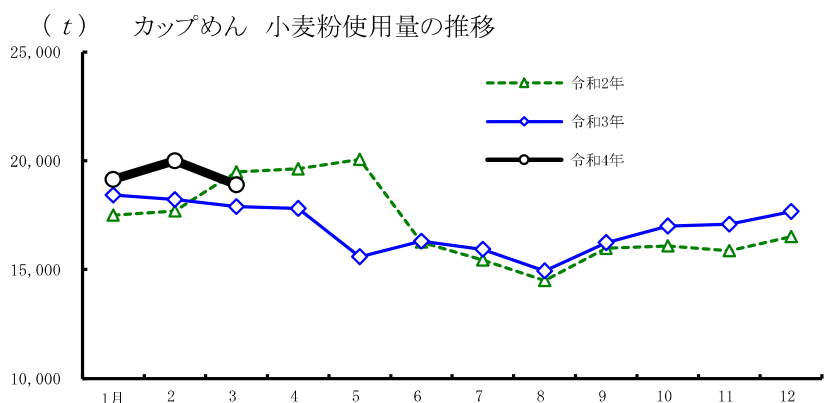
## ○ 生めん類

小麦粉使用量 対前年同月比  
**3月 0.1% 増加**  
 平成31年同月比 8.0% 増加



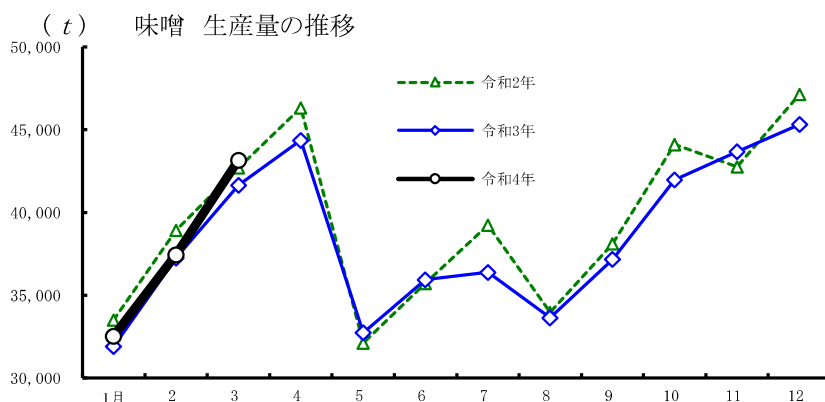
## ○ 即席カップめん

小麦粉使用量 対前年同月比  
**3月 5.6% 増加**  
 平成31年同月比 1.1% 減少



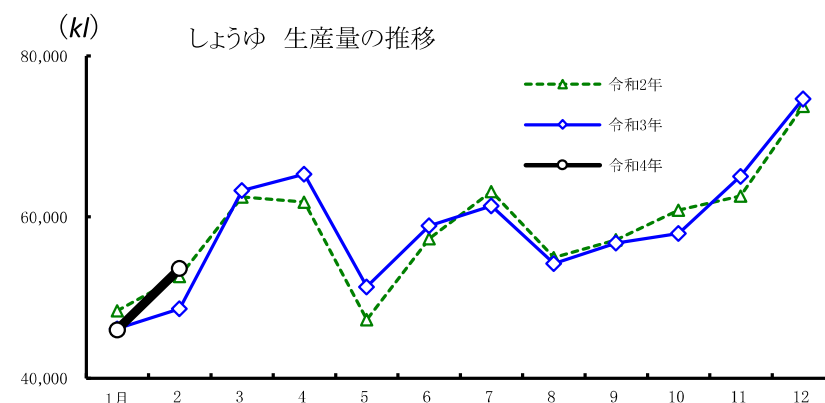
## ○ 味噌

生産量 対前年同月比  
**3月 3.6% 増加**  
 平成31年同月比 3.3% 増加



## ○ しょうゆ

生産量 対前年同月比  
**2月 10.3% 増加**  
 平成31年同月比 2.0% 減少



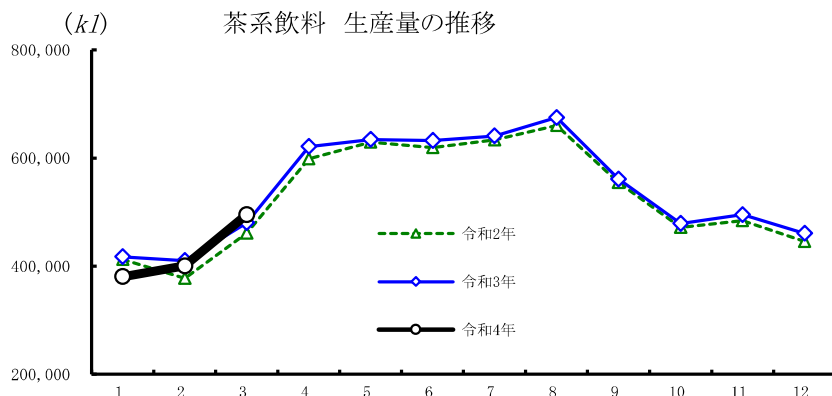
# 1. 加工食品の生産動向 <グラフでみる"コロナショック"からの再生>

## ○ 茶系飲料

生産量 対前年同月比

**3月 3.2% 増加**

平成31年同月比 1.0% 増加

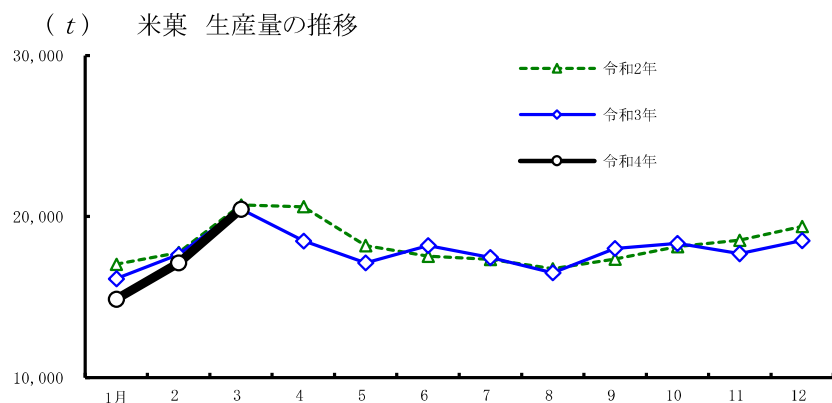


## ○ 米菓

生産量 対前年同月比

**3月 0.1% 増加**

平成31年同月比 1.5% 増加

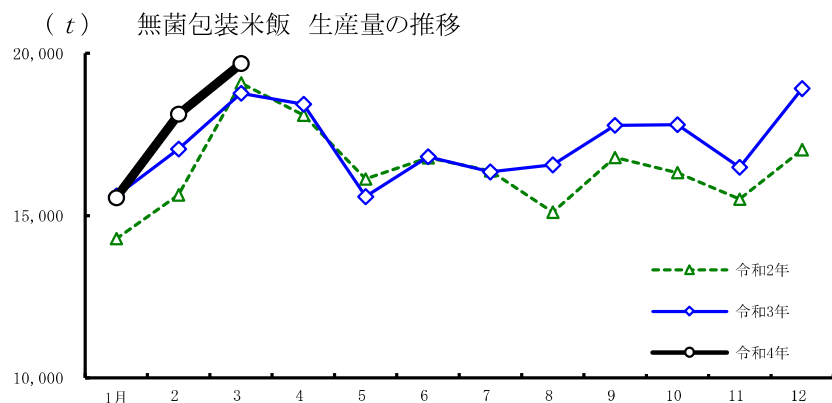


## ○ 無菌包装米飯

生産量 対前年同月比

**3月 4.9% 増加**

平成31年同月比 26.6% 増加

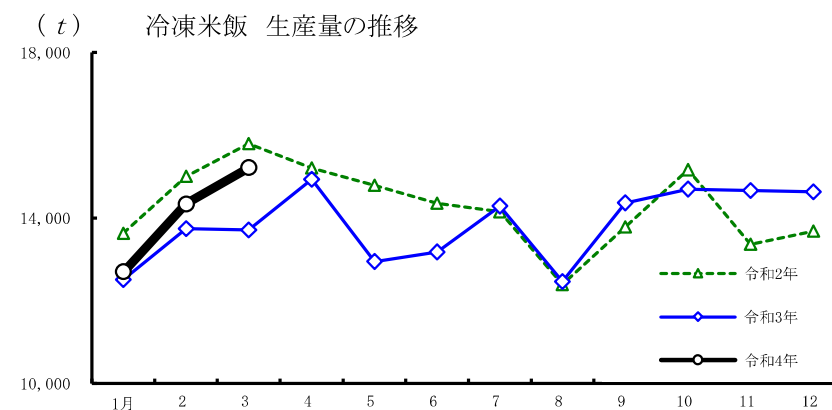


## ○ 冷凍米飯

生産量 対前年同月比

**3月 11.0% 増加**

平成31年同月比 1.1% 減少



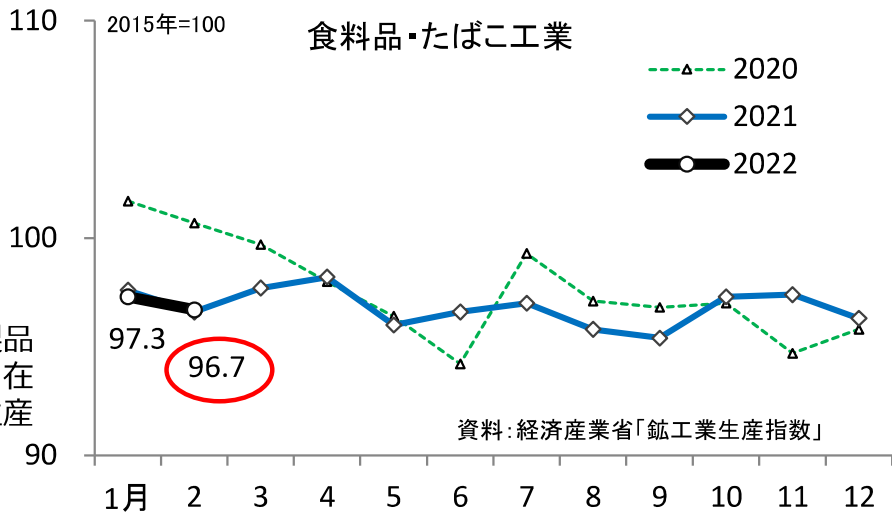
<参考> 食料品・たばこ工業の生産動向  
(経済産業省「鉱工業生産指数」より)

○ **食料品・たばこ工業**

生産指数 対前年同月比

**2月 0.1% 上昇**

※経済産業省「鉱工業生産指数」は、鉱工業製品を生産する国内の事業所における生産、出荷、在庫に係る諸活動の統計。食品製造業の月次の生産動向について、みることができます。



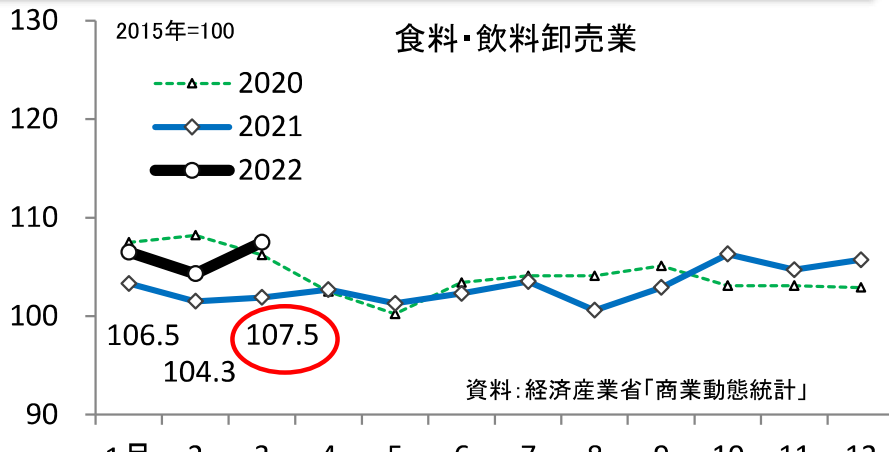
2. 食品卸売業・食品小売業 <グラフでみる"コロナショック"からの再生>

○ **食料・飲料卸売業**

売上高 対前年同月比

**3月 5.5% 増加**

2019年同月比 **0.3% 減少**



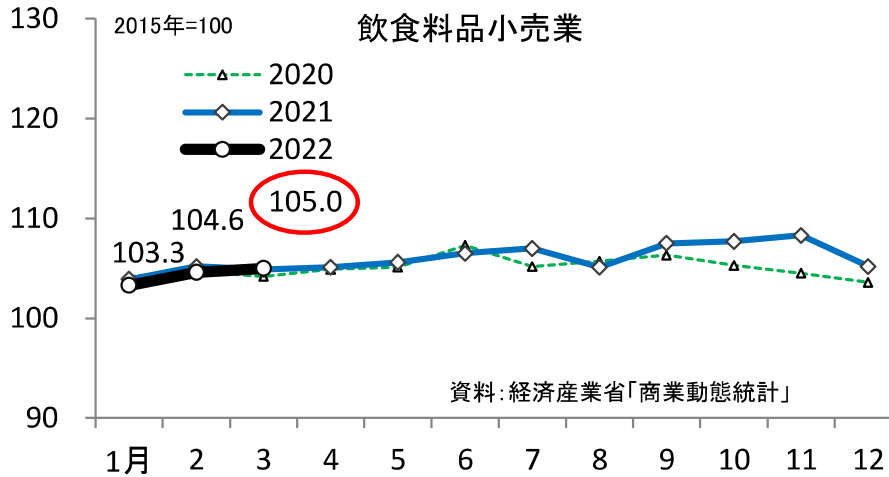
経済産業省「商業動態統計」は、全国の商業を営む事業所及び企業の販売活動の統計。具体的には、卸売業、小売業及び小売業の業態別（スーパー、コンビニエンスストア、百貨店の飲食料品都等の売上高（月次速報）について、みることができます。

○ **飲食料品小売業**

売上高 対前年同月比

**3月 0.1% 増加**

2019年同月比 **1.1% 増加**

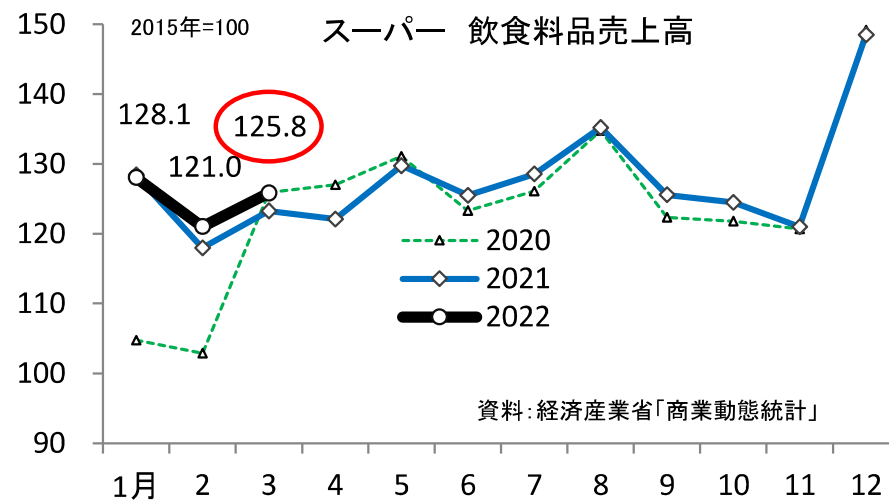


○ **スーパー**

飲食料品売上高 対前年同月比

**3月 2.1% 増加**

2019年同月比 **21.1% 増加**



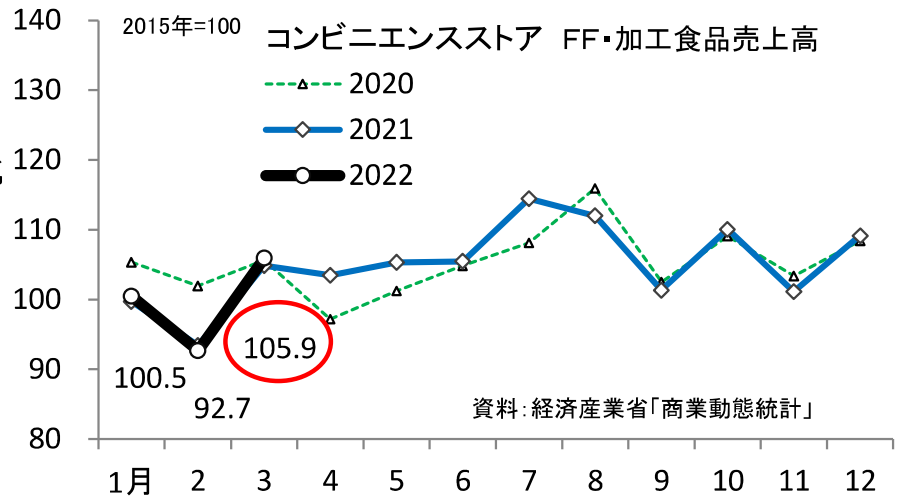
## 2. 食品卸売業・食品小売業 <グラフでみる"コロナショック"からの再生>

### ○ コンビニエンスストア

FF・加工食品売上高 対前年同月比

3月 1.0% 増加

2019年同月比 5.0% 減少

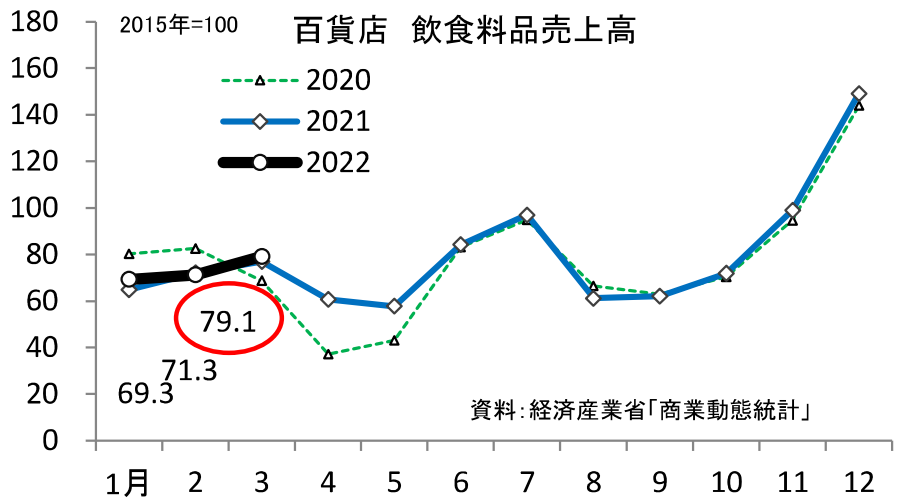


### ○ 百貨店

飲食料品売上高 対前年同月比

3月 2.8% 増加

2019年同月比 11.6% 減少



## 3. 外食産業 <グラフでみる"コロナショック"からの再生>

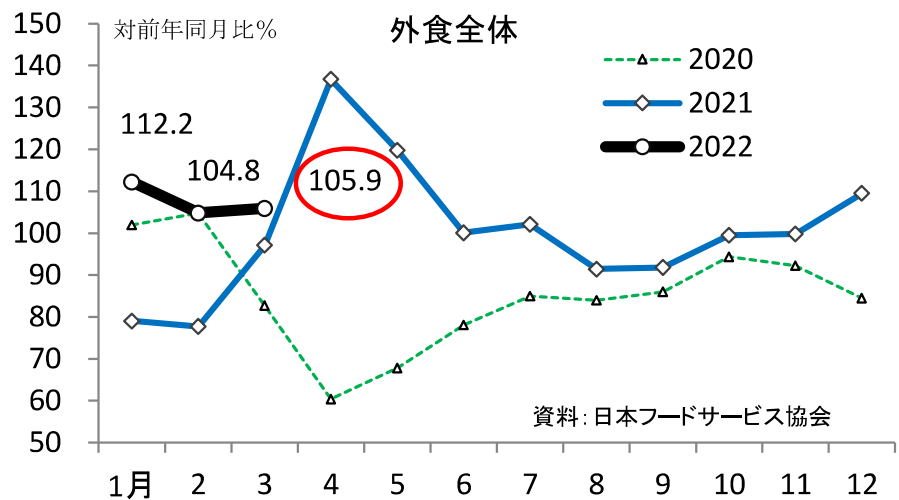
一般社団法人日本フードサービス協会の「外食産業市場動向調査」は、外食チェーン企業203社約3万9千店の売上高等についての業態別の統計。直近の売上動向がわかります。

### ○ 外食全体

全店売上高 対前年同月比

3月 5.9% 増加

2019年同月比 14.9% 減少



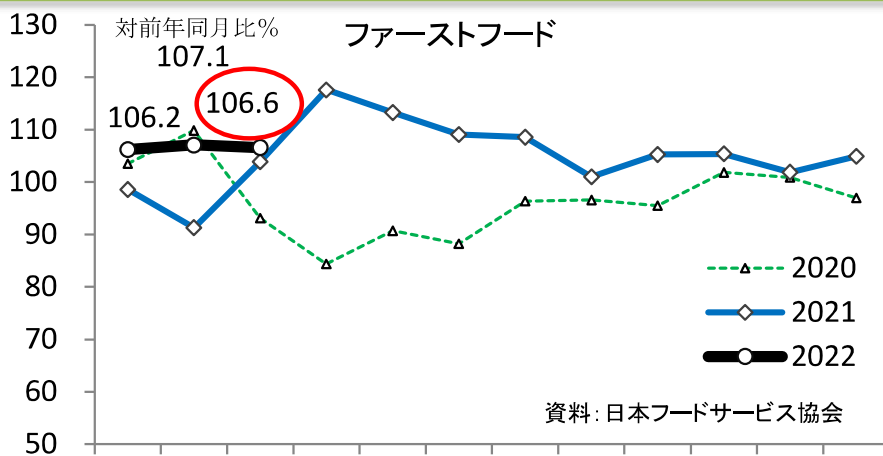
### 3. 外食産業 <グラフでみる"コロナショック"からの再生>

#### ○ ファーストフード

全店売上高 対前年同月比

**3月 6.6% 増加**

2019年同月比 3.1% 増加

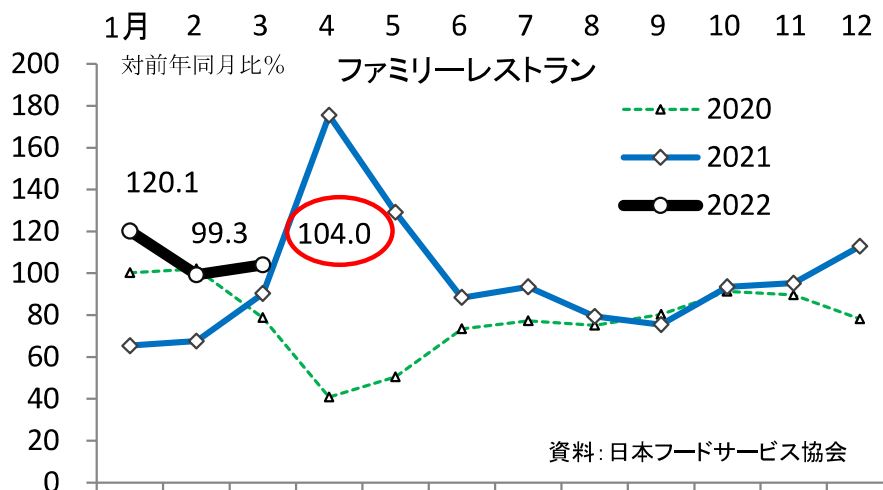


#### ○ ファミリーレストラン

全店売上高 対前年同月比

**3月 4.0% 増加**

2019年同月比 26.0% 減少

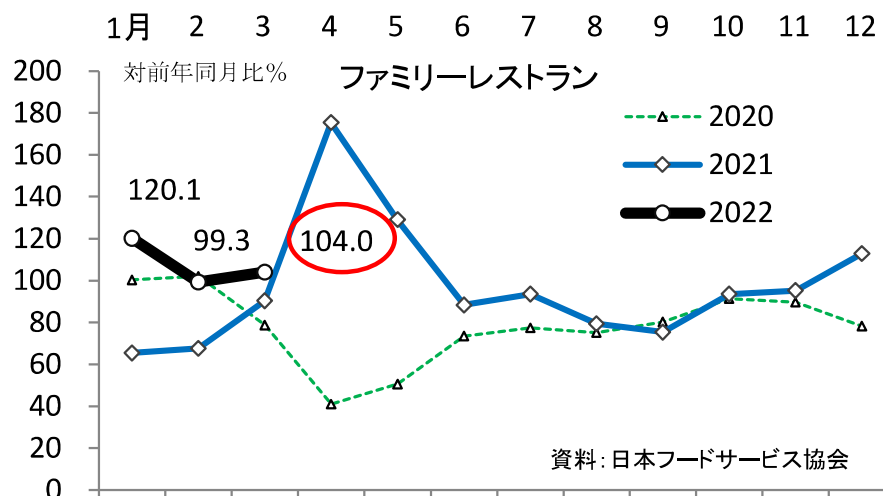


#### ○ パブレストラン/居酒屋

全店売上高 対前年同月比

**3月 4.3% 増加**

2019年同月比 64.3% 減少

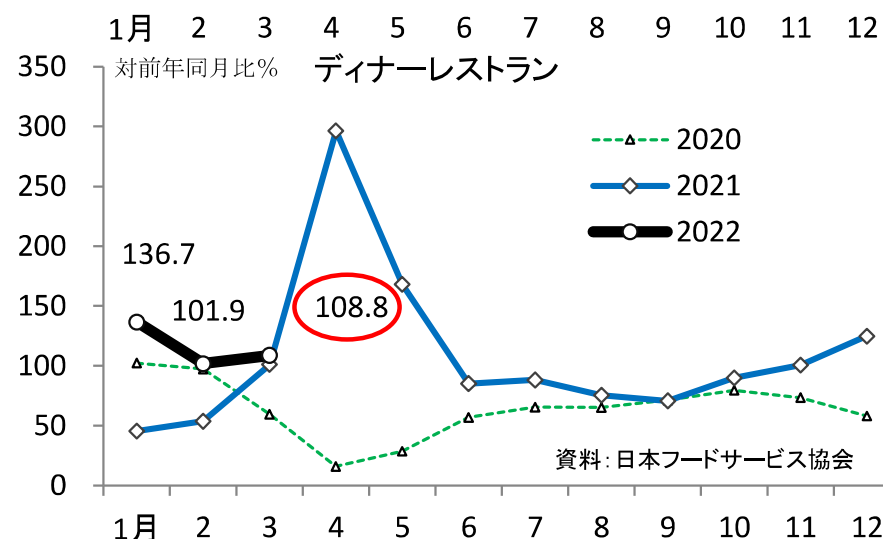


#### ○ ディナーレストラン

全店売上高 対前年同月比

**3月 8.8% 増加**

2019年同月比 34.6% 減少



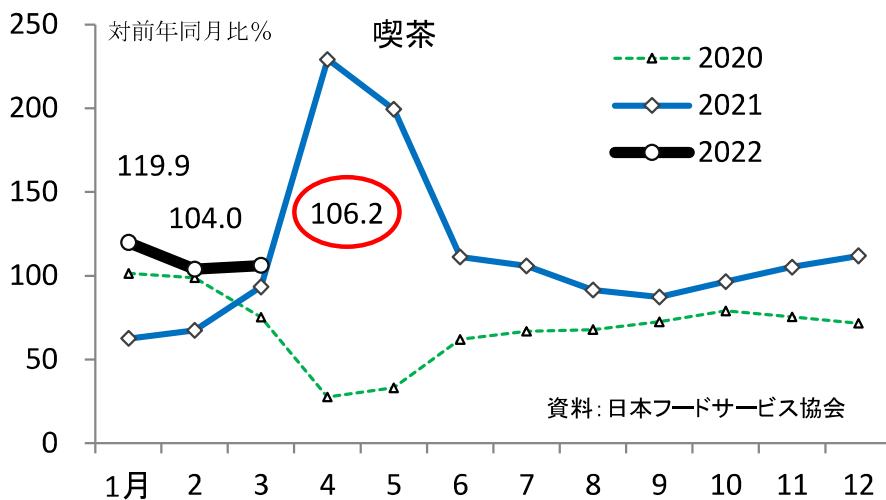
### 3. 外食産業 <グラフでみる"コロナショック"からの再生>

#### ○ 喫茶

全店売上高 対前年同月比

**3月 6.2% 増加**

2019年同月比 **25.3% 減少**



### 4. 食料品の物価

#### ○ 企業物価指数

企業物価指数は、企業間で取引される品質を固定した商品（財）の価格を継続的に調査し、現在時点の価格を、基準時点（2015年）の価格を100として、指数化したもの。

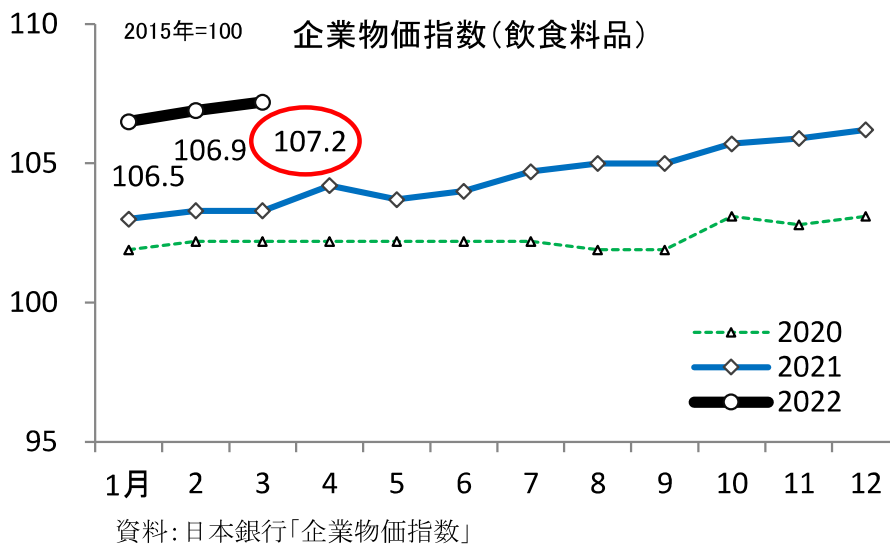
このうち、食品製造業（飲食料品）の出荷販売価格について、みることができます。

資料：日本銀行「企業物価指数」

#### ○ 企業物価指数 (飲食料品)

飲食料品 対前年同月比

**3月 3.8% 上昇**



#### ○ 消費者物価指数

消費者物価指数は、全国の世帯が購入する財及びサービスの価格変動を総合的に測定し、物価の変動を時系列的に測定するもの。

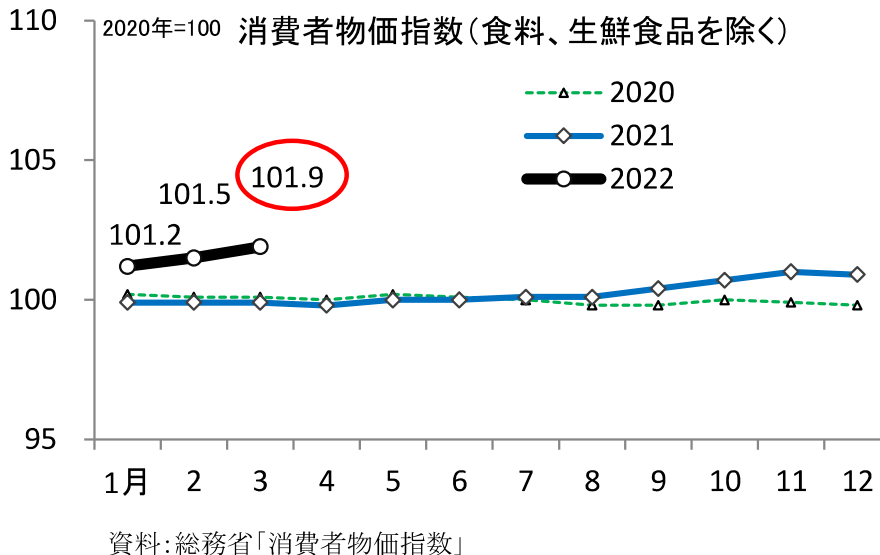
このうち、食料（生鮮食品を除く）について、みることができます。

資料：総務省「消費者物価指数」

#### ○ 消費者物価指数 (食料 (生鮮食品除く))

食料 対前年同月比

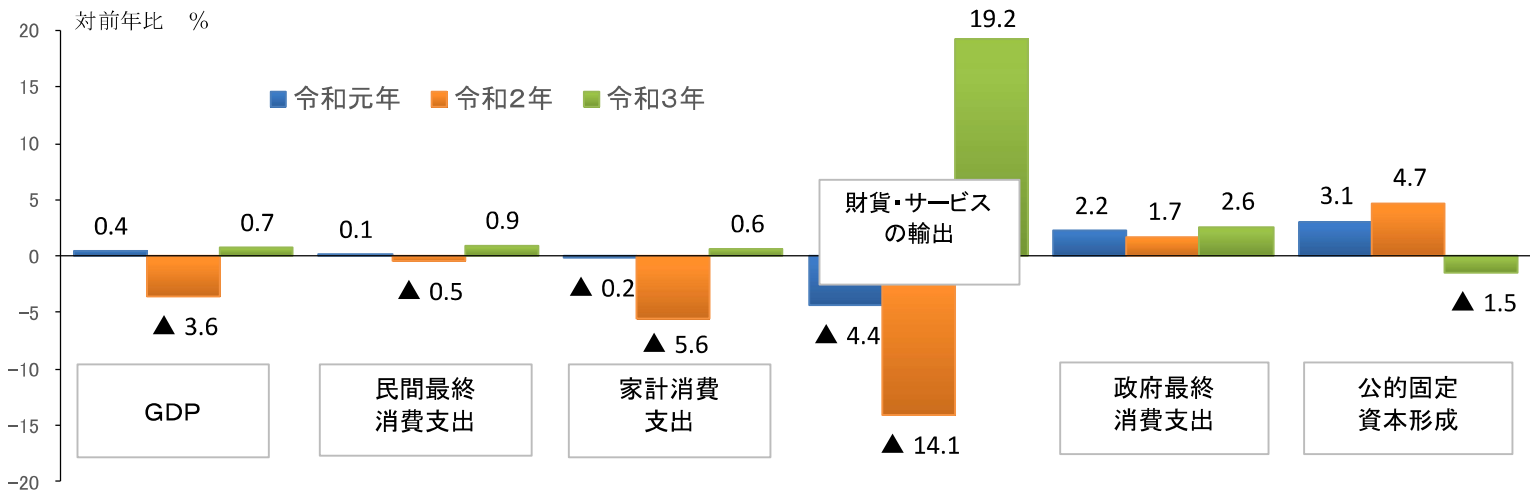
**3月 2.0% 上昇**





令和3年の日本経済は新型コロナウイルス感染症パンデミックの影響から回復は徐々に

令和3年の日本の名目GDP（国内総生産）は541兆9,035億円で対前年比 0.7%と前年並みとなった。うち、家計消費支出は対前年比0.7%と前年並み、財貨・サービスの輸出は19.2%で大幅な増加となった。令和3年の日本経済は、令和2年の新型コロナウイルス感染症（以下、「感染症」と表記）の世界的流行による未曾有の経済停滞から徐々に回復傾向にあるものの、令和元年度の水準には回復していない。感染症は収束には至らず、引き続き、経済社会活動の抑制を余儀なくされることとなった。

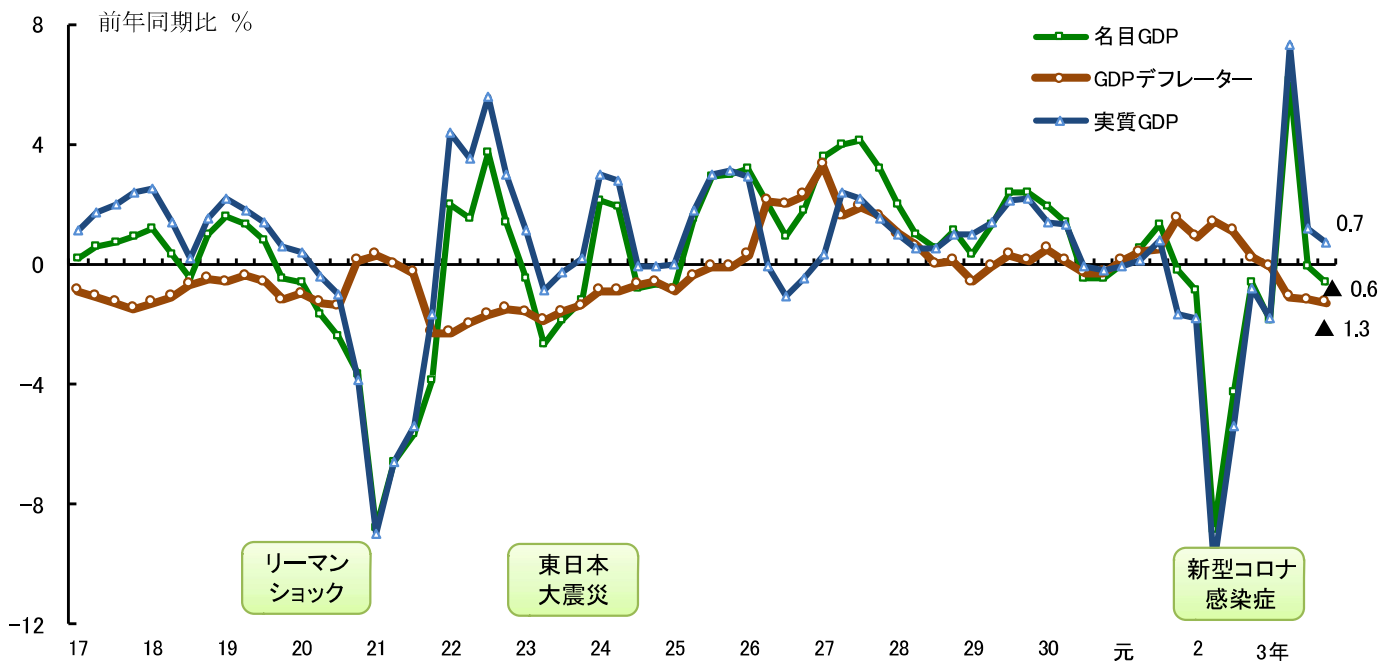


資料：内閣府「国民経済計算」

令和3年のGDPデフレーターは対前年比▲0.9%

GDPデフレーターは、対前年比▲0.9%となった。過去の推移をみると、長期間のデフレが続いた後、平成 26 年4～6月期以降はデフレ脱却に向けた経済施策等によりプラスに転じ推移し、平成28年4～6月期以降は横這い傾向で推移したが、令和元年後半から上昇で推移した。しかしながらその後は低下傾向で推移している。

なお、GDPデフレーターは、消費者物価だけでなく、公共投資や設備投資などを含む総合的な物価を示す指標であり、名目GDPを実質GDPで除して算出される。



資料：内閣府「国民経済計算」

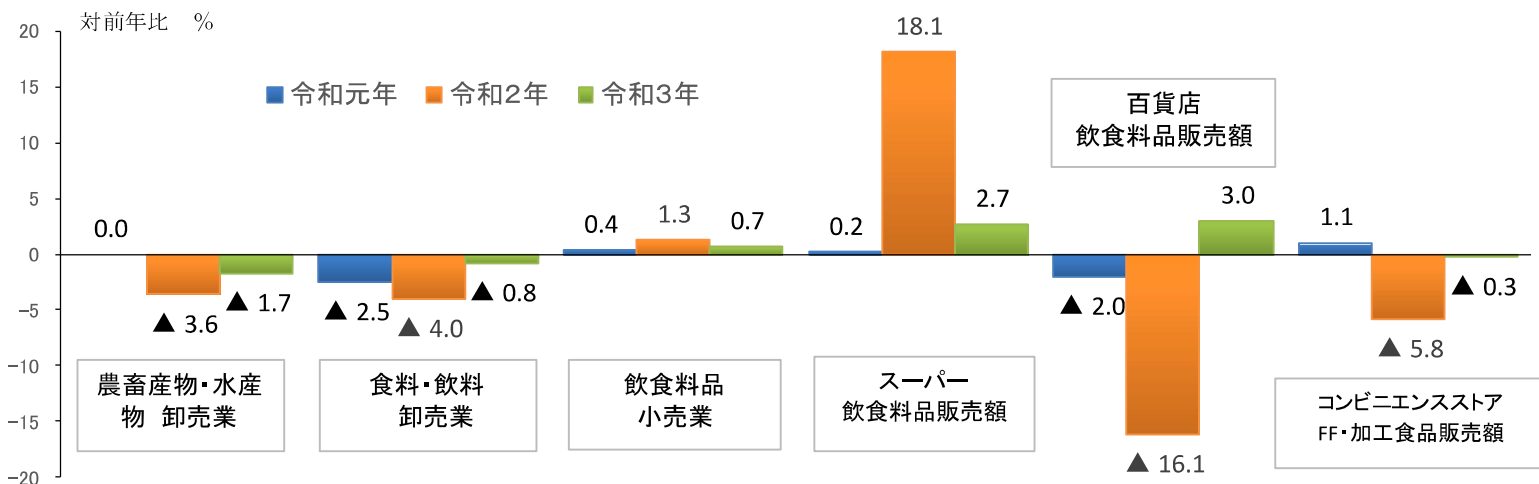
< 今月のトピック > - 令和3年の食品産業をめぐる経済動向について -

<https://fmic.or.jp/stat/nenpou/3doutaihonpenbunseki.1syou.pdf>

令和3年の食品小売業販売額は前年並みとなったものの、感染症パンデミック以前の水準と比べて、スーパーは堅調、百貨店及びコンビニエンスストアは回復していない

令和3年の農畜産物・水産物卸売業販売額及び食料・飲料卸売業販売額は、それぞれ対前年比▲1.7%、▲0.8%であった。双方ともに回復傾向にあるものの、令和元年の水準には回復していない。令和3年の飲食料品小売業販売額は、対前年比0.7%と前年並みとなった。令和元年と比べて、わずかに増加となった。

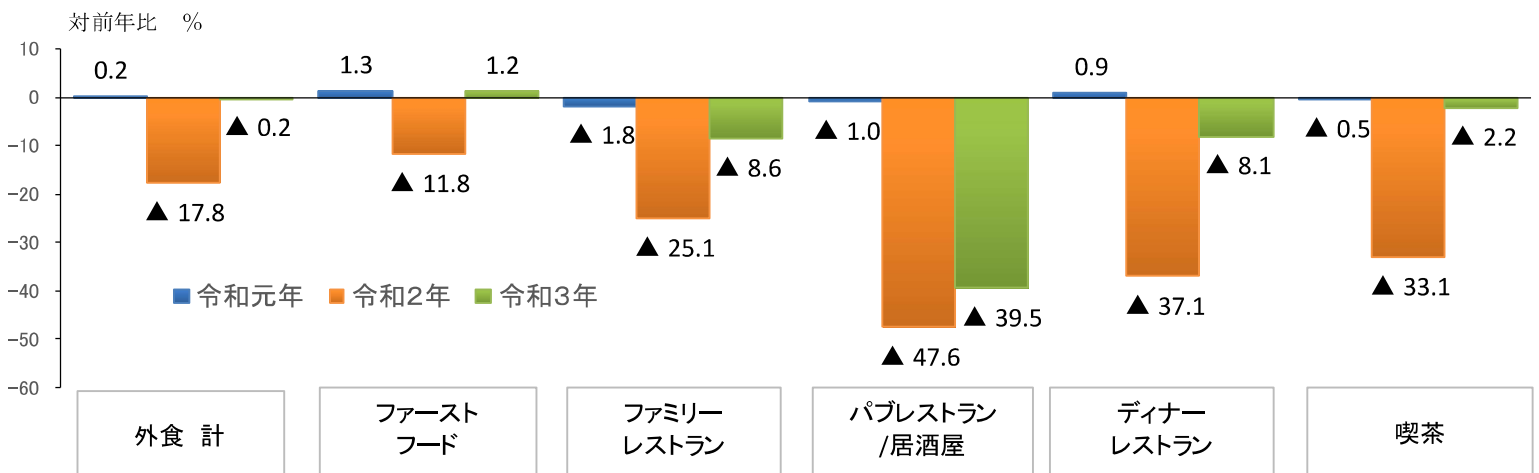
スーパーの飲食料品販売額は、対前年比2.7%とわずかに増加となった。令和元年と比べて、感染症拡大による巣ごもり需要から、大幅な増加となった。一方、百貨店の飲食料品販売額は、対前年比3.0%とやや増加となったものの、令和元年の水準には回復していない。コンビニエンスストアのFF・加工食品販売額は、対前年比▲0.3%と前年並みとなったものの、令和元年の水準には回復していない。



資料：経済産業省「商業動態統計」  
注：令和3年は速報値

令和3年の外食チェーン売上高は前年並みとなったものの、感染症パンデミック以前の水準には回復していない

外食チェーン全体の売上高は、対前年比▲0.2%と前年並みとなっており、令和2年の大幅な減少が継続している。特に感染症の影響が大きいのはパブレストラン／居酒屋、チナーレストラン、喫茶、ファミリーレストランの順であった。



資料：一般社団法人日本フードサービス協会「外食産業市場動向調査」